

# 神女広報

CROSSROADS

vol.12  
2011 Summer

神戸女子大学  
神戸女子大学大学院  
神戸女子短期大学  
神戸女子大学教育センター



## 特集

### 学長に聞く

- 6 教育研究活動
- 12 学園トピックス
- 15 大学連携
- 16 地域連携
- 18 インフォメーション

「自立心・対話力・創造性」活力あるコミュニケーションで結ぶ学園広報誌

学校法人行吉学園



略 歴	学 歴	職 歴	年 月	内 容
	昭和39年		3月	大阪市立大学理学部地学科卒業
	昭和41年		3月	大阪市立大学大学院理学研究科修士課程修了
	昭和48年		6月	理学博士（大阪市立大学）
	昭和41年		4月	大阪市立自然科学博物館 学芸員
	昭和44年		4月	高知大学文理学部助手
	昭和55年		4月	高知大学理学部教授（～平成6年4月）
	平成 6年		4月	神戸大学 大学教育研究センター教授・同大学大学院教授（～平成16年3月）
	平成16年		4月	神戸女子大学文学部教授 現在に至る
	平成19年		11月	神戸女子大学・神戸女子短期大学 学長就任
	平成23年		4月	神戸女子大学学長再任



学長の第一期の任期を終えられた感想と第二期の抱負をお聞かせください。

この度再選され、平成25年3月末まで大学の学長を務めることになりました。身に余る光栄で、職責を全うできるように最善を尽くす覚悟です。皆様には、これまで以上に力強いご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

学長一期目は、大学基準協会による認証評価と、行吉学園創立70周年の記念行事という二つの大きな事業に追われました。二期目の2年間は、既に学科でご検討いただいた「行吉学園将来構想タスクフォース」答申を活かしながら、将来計画に対する基本的な考え方や方向性をまとめ、今後に引き継げるようにしたいと考えています。

今日の大学に求められる改革の動きは、以前とは比べものにならないほど激しくなっています。それだけに、大学は常に大学を取り巻く情勢をできるだけ早くまた正確に把握して分析し、真に大学の発展に結びつく改革を推し進める必要があります。社会は大学全入時代を迎えた大学に、教育力の強化を進め教育の質を保証することを強く求めるとともに、大学に入ってくる学生には社会全体の将来を切り拓く中心的な役割を果たすことに強い期待感を抱くようになってきました。本学は、今年も志願者数を増やし収容定員を満たすことができました。教職員、学生にとって大きな励みとなることで、自負をもって教育や研究の質の向上に努め、学生一人ひとりの個性と可能性を活かす人材養成の責任を果たしていきたいと考えています。



波田学長は、現在、「理科教育法」「理科特別演習」「卒業論文」の授業をもっておられますが、何を学生に伝えたいと思って講義されていますか。

私は学長に就任後も、ゼミをもち、可能な限り授業を担当しています。それは、学長になっても常に学生に近い存在でありたいと願っているからです。私自身学生と接することが元々大好きなのですが、学生の資質や考え方の変化を把握しておくことは、大学運営上も重要であると考えているからです。今は、小学校の教員採用試験を受ける教育学科の学生の物理実験を担当していますが、中・高を通じて理科が嫌いになっている学生が多く、その人達に理科の楽しさ・醍醐味を伝え、理科に対する考え方を変えてもらうことに精力を注いでいます。



学生に対する想いをお聞かせください。



本学は開設以来伝統として、学生一人ひとりの可能性を大切にしながら、自立心・対話力・創造性を培う教育を展開していますが、明確な目的意識を持って入学してくる学生が多いので、大学生らしく目的の達成に向かって勉学に励む真面目で誠実な学生が多いことに好感を抱いています。

また、付属高校をもっていないため、地元もさることながら地方出身の学生が多く、入学した時点から皆仲が良く、有意義な大学生活を送ろうと協同する雰囲気ができているので、私はその様子を安心して暖かく見守っています。

さらに本学は、クラブ活動、学友会活動、スクールサポーター、ボランティア活動などにも力を入れていますので、学生はチームワークのすばらしさやリーダーシップの大切さを知り、活力溢れる大学生活を送れるように力を発揮してくれていることも魅力です。





神戸女子大学  
学長 波田 重熙



### ご自身の研究の紹介をお願いします。

学生時代に学術調査で海外に行った経験を活かし、研究者になって後は、それまでの西南日本の地質研究を海外に広げ、東南アジア、カナダ、ニュージーランドを中心にプレートが衝突して形成される変動帯の地球科学的研究を続けてきました。その過程で、ユネスコと国際地質科学連合による国際共同研究に関わることとなり、リーダーとして多数の国の科学者と複数のプロジェクトを推進してきました。現在も国際プロジェクトの国内委員会の代表として日本学術会議の連携会員を務め、パリのユネスコ本部で開催される理事会に毎年出席しています。ユネスコと関わってきたことから、昨年10月にユネスコが支援している世界ジオパークネットワーク入りを果たした「山陰海岸ジオパーク」の実現の火付け役も果たしました。最近の研究成果は、日本列島の一部を構成する特異な地帯が元々南中国の一部で、大規模な横ずれ運動で現在の位置に移動してきたという長年の私の主張を、若い人達が協力してくれて古地磁気のデータを使って証明した論文を国際学術雑誌 (Earth and Planetary Science Letters) に掲載したことです。



所属学会：日本地質学会、日本古生物学会、カナダ地質学会、マレーシア地質学会、ニュージーランド地質学会、タイ国地質学会  
主な論文：「Gondwana Dispersion and Asian Accretion ( Gondwana大陸の分裂とアジア大陸の形成)」、 「昭和二八年有田川水害」など  
社会活動：日本学術会議地球惑星科学委員会国際対応分科会IGCP国内委員会委員長、兵庫県文化財保護審議会会長、兵庫県国土利用計画審議会特別委員会委員など



### 座右の銘、愛読書を教えてください。

私はずっと「努力」を座右の銘としてきました。趣味であるマラソンにも通じるのですが、何事も日常の積み重ね、目的を達成する道筋、全て努力が第一と決めています。

本を読むのは往復の車中ですが、「世界は分けてもわからない」、「生物と無生物のあいだ」などの著者である福岡 伸一さんの著作に魅せられています。



### 趣味を教えてください。

若い頃からクラシック音楽の愛好家で、真空管アンプ、レコードで今も鑑賞しています。チェロが主役となる協奏曲や室内楽が特に好きです。体を動かすことも好きで、以前はテニスに熱中していましたが、現在は走ることに集中しています。今年も学生さんとホルルマラソンを走るために、日頃のトレーニングを欠かさないよう努力しています。50歳から始めて9回目のフルマラソンになります。



### 神戸女子大学は社会貢献で高い評価を得ていますが、このたびの東日本大震災について本学としてどのような復興支援をお考えでしょうか。

16年前の阪神・淡路大震災で日本中いや世界中から復興支援を受けた神戸に位置する大学として、できる限りの支援をしていくことをいち早く表明しましたが、具体的には「大学コンソーシアムひょうご神戸」や「ボーアイ4大学連携」の一員として、本学の得意分野である食と健康・教育などの分野の英知を活かしながら、夏季休暇を中心に活動できるように備えなければならないと考えています。





## 略歴

学歴	昭和48年	3月	神戸大学教育学部卒業
	平成3年	3月	神戸大学大学院教育学研究科学校教育専攻教育過程論(修士課程)修了
職歴	昭和56年	4月	神戸大学教育学部附属住吉中学校文部教官教諭
	平成5年	4月	神戸大学発達科学部附属住吉中学校副校長
	平成11年	4月	神戸女子短期大学教授 現在に至る
	平成14年	4月	神戸女子短期大学副学長(～平成22年3月)
	平成23年	4月	神戸女子短期大学学長就任

### 神戸女子短期大学の学長に就任された感想と今後の抱負をお聞かせください。

平成23年4月1日付で、神戸女子短期大学学長に就任致しました。本学は昭和25年に設立された全国で最も古い歴史と伝統をもつ短期大学のひとつであり、昨年は行吉学園創立70周年、短期大学創立60周年の祝賀行事を行いました。本学の建学の精神と教育綱領を継承し、社会の変化や時代の流れに即応して一層の発展を図るために、微力ながら全力を尽くす所存であります。皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

いま、我が国の大学・短期大学は厳しい競争的環境にあると言われていています。学長としては、何より入学した学生を幸福にする大学づくりを目指します。それは、学生が快適に生活できる環境を整え、学生の確かなキャリアアップを保障する短期大学です。学生のキャリアアップは、卒業時に希望に満ちた確かな進路が獲得できるかどうかによって評価されます。そのためには、専攻分野の専門知識と専門技術、そして豊かな教養に裏付けられた女性の品格が必要になります。このため本年度は学務組織を改め、これまでの教務部と学生部に加えて、新しくキャリア教育部を設けました。これら3部のトライアングルシステムによって、在学生の学業、学生生活、就職進学全般をサポートします。わたしたち教職員には、ポートアイランドキャンパスのアメニティ空間を整備すると共に、すべての学生のキャリアアップを可能にする授業力と対話力、そして学生支援力が求められると考えています。

現代の大学・短期大学は、学内の視野だけでなく、学外の視野つまり地域や社会貢献の役割もまた求められます。神戸女子短期大学が、学生が求める大学だけではなく、地域が求める大学、時代が求める大学として発展するためには、学長の経営的バランス感覚が問われると認識しています。

### 長瀬学長は、現在、「心理学」「教育心理学」「教育課程論」「総合生活演習」などの授業をもっておられますが、授業では学生に何を伝えたいと思って講義されていますか。



どんな科目の授業でも、学問をすることの面白さと学問に向かう時に求められる真摯さを伝えたいですね。人間は自分の知的向上を実感すると自己肯定感が得られ、生きることに前向きになれる。また心理や真実を探求する時には、真剣でしかも謙虚な態度が求められます。講義や学生との対話を通して、この2つを経験して欲しいと思っています。

毎週火曜3時限は、総合生活演習(ゼミ)を担当しています。演習テーマは「人間関係の心理学」で、学生がテキストを輪読しながら、各自の体験談を織り交ぜたディスカッション形式で展開します。毎時間、担当者の発表をもとにした、笑いと緊張感のある演習になっています。学生の「対話力」が確実に伸び、1年間の成長ぶりには目を見張るものがあります。学生の本音を聞いたり、今どきの学生事情を知ったりできる貴重な時間でもあります。

### 学生に対する想いをお聞かせください。

本学の学生は明るく素直で、授業もしやすく好感が持てます。そして授業や休み時間などに話していると、まだ気付いていない多くの潜在能力があると感じます。それをうまく引き出すのが私たちの教師力だと思っています。

ときどき研究室のある9Fフロアのソファで、学生がレポート作成や勉強、昼休みなどに友だちと談笑する姿が見られます。通りがかりに声をかけると、意外に話が弾むことがあります。学生との対話は、クドクド説教くさく言わないこと、明るい笑いにもっていくのがヒケツでしょうか。娘と話す感覚ですね。最近、ちょっとした会話でも個人情報保護の視点を忘れてはなりません。むずかしい時代になりました。







神戸女子短期大学  
学長 長瀬 荘一

### Q ご自身の研究の紹介をお願いします。

専門分野は教育心理学です。この学問は領域が広くて、発達、教授・学習、人格、測定・評価、思考・認知などから成っています。私の研究は、教授・学習と測定・評価が中心です。小・中学校の教育課程、授業構成、教育評価に関するものが多く、近刊では若い先生向けの図解シリーズ『伝統的な教育理論に学ぶ授業づくりの基礎』『分かる』が生まれる授業55の基礎技術』『子どもの言語力を育てる学級と授業』『落ちこぼし伸びこぼしのない授業プラン』(明治図書刊)が好評です。遊び心で入会している日本顔学会は、歯学、医学、美容、心理学、人類学、美術系などを含めた異色の学会です。だからこそ自分の専門を深める貴重な手掛かりが得られるのが、学問研究の面白いところです。



主な著書：『子どもが勉強したくなる授業の条件』『関心・意欲・態度(情意的領域)の絶対評価』『学校ミドルリーダー』など  
所属学会：日本教育心理学会、日本教育技術学会、日本教育工学会、日本顔学会  
社会活動：兵庫県立高等学校学力向上プロジェクト推進協議会委員長、神戸市教育振興基本計画点検・評価委員会座長など

### Q 座右の銘、愛読書を教えてください。

座右の銘は幾つかありますが、まず『本立而道生』を挙げます。何事も根本が確立して道が拓ける、という意味です。これまでの人生でも、原点・根本に立ち返って進むべき一歩を見つけた経験が多くあります。学生の皆さんにも薦めたい座右の銘です。書物は、多分野を幅広く読みますから、とくに絞り込んだ愛読書というのはありません。

### Q 趣味を教えてください。

趣味といえるような、立派なものはないですね。仕事以外で心を解放するという気楽な意味ならば、美学探訪を挙げます。絵画彫刻や陶芸、書道をはじめ、文章の中にも美学を感じることがあります。司馬 遼太郎作品に出てくる漢の美学にも関心があります。私たちの周りの人の生き方にも美学を感じることがありますから、美学は身近で面白い分野です。

### Q 神戸女子短期大学の社会的役割と実行している社会貢献にはどのようなものがありますか。

大学・短期大学に求められる最大の社会的役割は、社会に貢献しうる優秀な卒業生を輩出することです。教員や学生が行う学外活動も大事ですが、使命としては二次的です。大学人はこれを間違えてはなりません。本学の教員や学生は、ポートアイランド地域をはじめ、多くの社会貢献活動をしています。ご退職なされた森下 敏子教授が阪神淡路大震災以降ずっと学生と共に活動されていた「V-net」(阪神間の栄養士・管理栄養士を目指す学生のネットワーク組織)はその典型で、現在も引き継がれています。このほか、男性のための料理教室、保育ボランティア、市民病院や神戸空港ボランティアなど多くの活動がなされています。





# ハワイ大学交流30周年 ハワイ大学との交流の歴史

30th Anniversary of the Program with University of Hawai'i

## ハワイ大学交流年表

1980年11月 5日	ハワイ・カイルアにセミナーハウスを開設
1981年 1月 5日	第1期海外研修生として神戸女子大学文学部文学科英文学専攻の学生12名が1ヶ月のハワイ大学での研修に出発
1981年 7月 2日	ハワイカイルアのケオケア・プレイスにセミナーハウスを移転
1983年 3月24日	ハワイ大学と姉妹校提携
1984年 12月20日	故行吉 哉女理事長がハワイ大学から国際教育に対する貢献により表彰状と賞牌を授与される
1989年 6月14日	ホノルル市ヤングストリートにセミナーハウスを移転
1990年 11月 8日	行吉学園創立50周年記念式典に ハワイ大学総長アルバート・J・シモン博士を迎え記念講演を行なう
1995年 11月27日	ピーター・タナカ先生、ジュディ・エンジグ先生がハワイより表敬訪問
1996年 4月 9日	ハワイ大学マノア校クラウス・ホール内に「行吉哉女ルーム」が開館
2001年 9月21日	ハワイ大学主催20周年記念パーティ(於:カハラマンダリンホテル)
2002年 夏	家政学部管理栄養士養成課程の学生がクアキニ病院で実習開始
2006年 2月14日	ピーター・タナカ先生がハワイより表敬訪問
2006年 7月	ハワイセミナーハウスの全面改修工事終了
2006年 9月 7日	ハワイ大学主催25周年記念パーティ(於:ハレクラニホテル)
2007年 4月 1日	文学部英語英米文学科第1期セメスター・プログラム研修生出発

行吉哉女ルーム前の  
哉女先生



初期の頃の授業風景

## ハワイ大学交流の変遷



ボランティア活動の一コマ

ハワイ大学との交流は今からさかのぼること30年、1981年に本学文学部文学科英文学専攻の学生12名によりハワイ大学アウトリーチ・カレッジで1ヶ月間の英語研修が実施されたことに始まります。学園創設者の行吉 哉女先生は、学生を国外に送り、現地で充実した英語教育を受けさせ、世界を舞台に活躍できる女性を育てたいという強い願望を抱かれ、研修に先駆け1980年にハワイセミナーハウスを開設されました。

宝石のように美しいカイルアビーチの閑静な高級住宅地に最初のセミナーハウスはありましたが、すぐにハワイカイルアのケオケア・プレイスに引っ越しました。ハワイカイルアもまた高級住宅地にあり、入り江に面したセミナーハウスには自家用のクルーザーを係留できる船着場がありました。

ハワイ大学英語研修が30年という長きに渡って継続されてきた一番の要因は歴代の寮監の方々の努力です。皆様、骨身を削って研修生の世話を当たり、当初は朝・夕の食事、掃除、買出し、学生の心のケアに精力を傾けられました。

1989年にセミナーハウスは、ホノルル市ヤングストリートに移転しました。5階建てで約20人の研修生が自炊でき、談話室などを設えた本格的なセミナーハウスです。

1996年にハワイ大学構内のクラウス・ホール(Krauss Hall)に、本プログラムに心血を注がれた行吉 哉女先生の偉業を記念して「行吉哉女ルーム(Kaname Yukiyoshi Room)」が設置されました。行吉哉女ルームは最新の機器を揃えたマルチメディアAVルームで、空いている時を見つけるのが難しいほど頻繁に活用されています。

交流20周年を記念して、クアキニ病院に於いて家政学部管理栄養士養成課程の病院実習が新規に導入され、ハワイプログラムに新しい息吹が吹き込まれました。また、2006年には25周年を記念してヤングストリートのセミナーハウスが全面改修されました。機を同じくして文学部英語英米文学科となった同学科のハワイ大学セメスター留学プログラムが翌年開始されました。

交流30周年を記念して2011年9月2日にハワイ大学主催の記念式典が挙行される予定です。



## 交流年表 (姉妹提携等)

1983年	ハワイ大学(アメリカ)	2007年	チェンダラワシ大学(インドネシア)
1993年	ケント大学(イギリス)	2010年	ウダヤナ大学(インドネシア)
1997年	フライブルク大学(ドイツ)	2010年	西安工程大学(中国)
2000年	華南師範大学(中国)	2010年	カセサート大学(タイ)
2006年	ガジヤマダ大学(インドネシア)	2010年	高麗大学(韓国)
2006年	オークランド工科大学(ニュージーランド)	2011年	チェンマイ大学(タイ)
2006年	ピッツァー大学(アメリカ)	2011年	カリフォルニア州立理工大ポモナ校(アメリカ)

## 国際交流



教育研究活動

## 第2回サステナビリティ・スタディツアー(ベトナム・カンボジア)

2011年2月21日(月)～3月1日(火)



上智大学アジア人材養成研究センターにて、三輪氏にアンコールワットの説明を聴く



ザオ族の女性と学生との交流



かものほしプロジェクト・コミュニティファクトリー(縫製工場)の工房で働く女性たちの作業を観察する学生

今回のサステナビリティ・スタディツアーは、ベトナムとカンボジアで実施し、文学部神戸国際教養学科野口 和美准教授の引率のもと同学科の学生が参加しました。

到着直後、JICAハノイ事務所を訪問し、ベトナムでのプロジェクトの説明及び視察するイエンバイ市の栄養向上プロジェクトについて説明を受けました。

2日目は、早朝にハノイを出発し、300キロ先にあるイエンバイ市ルックイエン郡の保健局を訪問し、イエンバイ子ども栄養向上プロジェクトに関する説明を受けました。

3日目は、その保健局から2時間かけて、Dong Quan コミュニティ栄養回復センターへ行き、山岳民族のザオ族の家庭を訪問し、実際に栄養を考えた食事の作り方などの指導について、コミュニティのボランティア及び参加している女性にインタビューも行いました。

4日目は、ハノイの博物館などを訪問し、カンボジアのシェムリアップへ移動。

5日目は、シェムリアップで日本のNGO「かものほしプロジェクト」のコミュニティ・ファクトリーで草木染めの縫製工場で働く女性や農村家庭を訪問しました。午後は、上智大学アジア人材養成研究センターで、アンコールワットにおいて、観光開発と地域住民との対立、異文化理解などの関連で多くの問題があることをお話ししていただき経済発展と地域住民の生活のバランスをどのように両立させるのかという課題も知ることが出来ました。

6日目は、アンコールワットを見学した後、バスでプノンペンへ。

7日目は、ボル・ポト時代のツールスレン刑務所とキングフィールドを訪問した後、ワット・プノン(寺院)と王宮を訪問しました。

8日目は、JICAプノンペン事務所で、ジェンダー主流化プロジェクトの説明を受け、現地のNGOが運営するカフェ及び縫製工場を見学しました。

今回は新たにベトナムを訪問し、都市部の経済発展がめまぐるしい一方で、山岳部や地方での貧困状態を見ることによって、格差が激しくなっていることを学びました。学生は、各訪問先で積極的に質問をするなど、途上国の現状、特に都市部と山岳部の格差について、自分の目で確認出来たことと思います。

## タイ・チェンマイ大学との「国際学生文化交流プログラムにおける覚書」を締結

神戸女子大学波田 重熙学長は、2011年1月10日にタイのチェンマイ大学において、国際学生文化交流プログラムにおける覚書に調印致しました。両大学の学生及び学術交流を促進することを目標とし、今後、学生及び教員の文化・学術交流が深まることが期待されます。





# 神戸女子大学古典芸能研究センター開設10周年

神戸女子大学教育センター(三宮キャンパス)にある古典芸能研究センターは、古典芸能に関する調査・研究、並びに社会への学的貢献を目的として、平成13年4月に開設されました。能楽(能・狂言)・近世芸能(浄瑠璃・歌舞伎)・民俗芸能に関する資料を備え、それぞれの分野研究はもとより、総合的な古典芸能研究拠点をめざし、今日まで発展してまいりました。開設10周年を迎えた、現在のセンターの概要を紹介します。

古典芸能研究センターの施設は、教育センターの2階にある資料室と事務スペースです。常時、数名の所員が在席して業務を行っています。



閲覧室内部

センターの運営は、センター長・専任研究員・兼任研究員で構成される運営委員会において審議されます。

センターでは、その設置目的を達成するため、次の事業を執行を行うことを「神戸女子大学古典芸能研究センター規程」(平成16年4月1日施行)で定めています。

- (1) 古典芸能に関する調査・研究及び成果の発表
- (2) 古典芸能に関する図書・資料の収集及び保管
- (3) 古典芸能に関する図書・資料の閲覧業務及び公刊
- (4) その他、目的達成に必要な事業

## (1) 古典芸能に関する調査・研究及び成果の発表



センターにおける研究の先駆けは、前身の「能楽資料室」(平成6~12年、須磨キャンパス)時代から取り組んだ、「古典芸能データベースの構築と情報発信研究」という研究課題でした。本学所蔵資料の目録作成及びデータベースの構築を行ったことで、資料価値が増大し、学内外の教育・研究に大きく寄与することができました。この研究方向は、現在まで発展的に継続しています。また、年1冊刊行の『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』で成果を発表しています。

## (2) 古典芸能に関する図書・資料の収集及び保管

センターの所蔵資料数は、整理を終えて公開中もしくは公開準備中のものも含め、以下のとおりです。

和装本	約 3,500冊	逐次刊行物	約23,500冊
洋装本	約15,000冊	その他の資料	約71,000点

特殊 コレクション	橋文庫(能楽資料)	檜書店旧蔵謄本版本
	吉田文庫(能楽資料)	喜多文庫蔵民俗芸能調査資料
	伊藤正義文庫(能楽・中世文学資料)	沖繩祭祀資料

センターでは、これらを総合的に見据えた上で集書計画をたて、新たな収集に努めています。なお、所蔵資料は、データベースもしくは紙媒体によって目録化し、順次公開しています。

## (3) 古典芸能に関する図書・資料の閲覧業務及び公刊

センターの利用規程は次のとおりです。

閲覧場所…古典芸能研究センター閲覧室

※図書・資料の貸出は行わない

閲覧日時…月曜日～金曜日 午前10時～午後5時

※祝祭日、大学記念日その他臨時閉室期間を除く

閲覧方法…学生・社会人を問わず利用可能

ただし貴重書、喜多文庫未公開資料については、本学図書館の利用規程に準ずるため、あらかじめセンターに照会のこと

開設以来、この規程に則りセンターを利用した閲覧者は、平成22年度末で延べ3,874名です。その内、学内利用者は1,990名、学外利用者は1,884名です。

## (4) その他、目的達成に必要な事業



ドナルド・キーン先生  
(学園創立70周年記念特別講演会)

古典芸能の調査・研究と並ぶセンター開設の目的は、社会への学的貢献です。そのため、センターでは、古典芸能の魅力を広く啓蒙する活動を続けています。学外からも多彩な講師を迎え、オムニバス形式の特別講座や、講演会・シンポジウムを継続して催しています。

また、年間約3回の常設展のほか、コスモス祭(大学祭)への参加、あるいは講演会などのテーマに因んで開



「浄瑠璃と近松」展  
(公開シンポジウム「近松再発見」関連展示)



催する特別展も積極的に行っています。そして、こうした活動の蓄積が、『古典芸能の舞台 神戸』(平成21年、非売品)、『近松再発見』(平成22年、和泉書院)刊行で実を結んでいます。

平成13年10月、センターの開設を記念する講演会「文化の世紀」に登壇した故伊藤 正義初代センター長は、センターが、知的活動の発信基地となるためには、閉鎖的な大学研究所ではなく、開放的な文化センターとしての施設をめざし、他大学との連携とともに、一般社会に対して「知」の還元と発信を弛まず続けることが重要だと述べました。このメッセージを胸に、古典芸能研究センターは今年10年目、更なる前進をします。



第25回管理栄養士国家試験合格者発表 合格率87.2%  
神戸女子大学 瀬口 正晴教授の発明 特許として登録される



第25回管理栄養士国家試験合格者発表 合格率87.2%

平成23年5月9日(月)に第25回管理栄養士国家試験の合格発表がありました。  
家政学部管理栄養士養成課程の卒業生159名のうち156名が受験し、136名が合格、合格率は87.2%でした。  
全体の受験者総数は19,923名、合格者数8,067名で合格率は40.5%、このうち管理栄養士養成課程新卒者の  
受験者総数は7,702名、合格者数は6,320名(合格率82.1%)でした。

神戸女子大学 瀬口 正晴教授の発明 特許として登録される

神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程 瀬口 正晴教授の発明が  
特許として登録されました。

特許第4695105号

発明者 瀬口 正晴

発明の名称 『カステラ用小麦粉の製造方法』

出願番号 特願2007-034648

特許権者 長田産業株式会社  
学校法人行吉学園

出願日 平成19年2月15日  
登録日 平成23年3月 4日



瀬口 正晴教授

特許について瀬口 正晴教授の説明

ある日、ある企業の方がいらして、それまで小生が進めていた研究の一面を気付かせてくれました。さらに若いヒトの力を借りて、懸命にそれをこじ開けた結果がこの特許(特許)のような感じがいたします。この特許の中には食品加工、食品貯蔵、更には分子生物学の分野のこれからの研究糸口がたくさんつまっていると思われ、あと何十年間か後にもこの中のテーマは引き継がれてゆくか、あるいはねむっているか、何れにしても人間社会の、特に食生活をレベルアップする上で必要な化学的な新しいセオリーが潜んでいる分野と思います。

パンの歴史が6千年と言われ、パンではなく小麦粉となるともっと古いかもしれません。長い人間の歴史の中でこの小麦粉との付き合いは、経験につぐ経験であり、サイエンスのメスが入ったのはつい最近で、この特許のベースもそのメスの一振りです。本学の研究意気も次第に上向いていて、若い先生方も育ってきていると思います。この特許などもその一端の様な希望的観測です。

本発明は品質の極めて不安定なカステラの品質を、小麦粉の改良処理によって安定化し高品質カステラを製造することを目的とする発明です。そのための小麦粉改良処理は、小麦粉の長期間の室温放置、及び120℃等の高温での短時間乾熱処理を行うものです。こうして調製した改良小麦粉を用いてカステラ製造を行うと、極めて品質の安定したカステラの製造が可能になりました。本発明はこのようにカステラの品質を一定にコントロールできる小麦粉製造を目的とするものです。その学術的内容は、

1)Chieko Nakamura, Masaharu Seguchi: "Improving Effects of Stored Wheat Flour on Pancake Texture" Food Sci. Technol. Res., 13(3):221-226, (2007)(2)Chieko Nakamura, Yosiki Koshikawa and Masaharu Seguchi: "Effects of Changes Due to Storage on Kasutera Cake Volume" Food Sci. Technol. Res., 13(4):351-355, (2007)(3)Chieko Nakamura, Yosiki Koshikawa and Masaharu Seguchi: "Increased Volume of Kasutera Cake (Japanese Sponge Cake) by Dry-Heating of Wheat Flour" Food Sci. Technol. Res., 14(5) 431-436 (2008)  
に纏められています。"



## 平成23年度 科学研究費補助金採択状況

文部科学省は、平成23年度の科学研究費補助金について、新規分と継続分を合わせて応募総数127,403件のうち63,310件を採択しました。本学の採択件数は大学21件(継続13件、新規8件)、短期大学1件(継続1件)でした。

種目	研究代表者	研究課題名
基盤研究(B)	文学部・教授 大谷 節子	能・狂言面の創出と派生に関する学際的研究
基盤研究(C)	文学部・教授 永測 朋枝	婦人雑誌にみる文学・ジェンダー・メディアの交差 -藤村「処女地」執筆者調査より-
基盤研究(C)	家政学部・教授 上野 勝代	ドメスティック・バイオレンス被害女性のためのシェルターの空間改善に関する研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 栗原 伸公	カプサイシン、ジンゲロールによる高血圧発症・進展予防とその機序
基盤研究(C)	文学部・教授 松下 孝昭	近代日本の都市地域社会と市政 -大阪・京都・神戸の比較研究-
基盤研究(C)	健康福祉学部・准教授 津田 理恵子	懐かしさを活用した支援 -回想法の実践を通した生きがいの追求-
基盤研究(C)	文学部・准教授 小原 依子	リハビリテーション病院等における音楽療法の効果判定に関する実践的研究
基盤研究(C)	健康福祉学部・教授 瀬口 春道	亜鉛・ビタミンE、Cの複合摂取による血圧上昇及び血管肥厚抑制効果
基盤研究(C)	文学部・教授 狩野 恭	ジュニャーナシュリーミトラ「主宰神論」の研究
基盤研究(C)	文学部・教授 今井 修平	畿内近国小藩領における大庄屋機能の研究 -播州福本藩領鶴野金兵衛家の活動を中心に-
基盤研究(C)	健康福祉学部・准教授 曾田 里美	児童養護施設におけるライフストーリーワーク実践に関する基礎的研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 瀬口 正晴	グルテンフリー膨化食品の研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 堀田 久子	柑橘類搾汁残渣の有効利用について
基盤研究(C)	文学部・教授 木下 由紀子	世紀転換期における形而上的文化交流の形 -岡倉天心とヴァージニア・ウルフの芸術観
基盤研究(C)	文学部・准教授 山内 晋次	硫黄流通からみた古代・中世の日本とアジア
基盤研究(C)	文学部・教授 大橋 喜美子	幼保一体化に向けた保育カリキュラム・モデルの構築
基盤研究(C)	家政学部・教授 山根 千弘	ナノ食品 -木質パルプから構造制御されて得た機能性食品材料-
挑戦的萌芽研究	文学部・准教授 園田 節子	中国移民の移動ハブ地における史料の残存と蓄積の調査研究
若手研究(B)	文学部・准教授 橋本(船木) 礼子	方言文法の視点による推量表現の変化に関する研究
若手研究(B)	文学部・非常勤講師 鎌谷 かおる	日本近世における内水面の漁業権に関する基礎的研究
若手研究(B)	健康福祉学部・助教 松本 衣代	インドネシアにおける小児肥満予防/改善教育健康プログラム開発の試み
若手研究(B)	幼児教育学科・准教授 畠山 由佳子	市町村における「家族維持を目的とした児童虐待在宅支援実践マニュアル」の開発的研究

※ゴシック文字は今年度新規採択(8件)



## 大学院情報(論文の概要)

<課程博士>

軸丸 清子(神戸女子大学大学院文学研究科教育学専攻) 指導教員:前田 研史教授  
論文題目「サイコセラピューティック・ナーシングの構想—実践と教育に関する研究—」



本論文は、筆者の看護学と臨床心理学の知見・技法を統合させて患者のケアに当たった看護と教育の実践を「サイコセラピューティック・ナーシング(Psychotherapeutic Nursing)」(以下、PTNと略す)という視点から、その意義と役割・機能、それを可能にする教育のあり方について検討し、構想としてまとめたものである。

序章は、現代医療における看護の問題点と専門的な心の看護の必要性について述べた。第1章は、PTNの基本的枠組みと本論文での検証の視点、第2章は、脳損傷による重篤な後遺症を抱えた患者の尊厳ある「生」を支えるPTNの意義、第3章は、死から逃れることのできない病を抱えた患者の尊厳ある「死」の看取りにおけるPTNナースの役割と機能、第4章は、身体疾患に心理的問題を併発した患者の看護へのPTNに基づくスーパービジョンの意義を明らかにした。第5章では、PTNを提供できる看護師を養成するための教育のあり方を明らかにするために、筆者が大学看護学科でPTNを念頭において行ったヒューマンケア教育の効果を評価し、第6章で、その教育を受けた実践看護師の実践における効果を分析した。最終章第7章では、ここまでの検討からPTNを構想として明らかにした。

## 教養科目情報

### 神戸女子大学 全学共通教養科目「キャリアに学ぶ」で理事長、学長が講義を行う

神戸女子大学の全学共通教養科目では、企業をはじめ様々な分野で活躍している先輩女性にそれぞれの経験を語っていただくことにより、大学生活の4年間、その後の人生計画まで含めたライフプランを考えることを目的とした、新入生対象の授業、「キャリアに学ぶ」を開講しています。今年度、受講している学生は須磨キャンパスとポートアイランドキャンパスあわせて約200名です。

今年度から神戸女子大学の目指す女子教育の主旨と歴史を学び、女子大生としてのアイデンティティーをもつことも念頭におき、理事長、学長による講義を全15回の冒頭に取り入れ、神戸女子大学の学生としての自覚を促す内容の講義を加えました。



行吉理事長 講義風景

行吉 誠之理事長が須磨キャンパスで4月18日(月)、ポートアイランドキャンパスで4月19日(火)、「行吉学園の歴史と建学の精神」という題目で本学園と神戸女子大学の歴史と創設者である行吉 國晴・哉女夫妻の女子教育への信念、熱意について講義しました。

続いて、波田 重熙学長が、須磨キャンパスで4月25日(月)、ポートアイランドキャンパスで4月26日(火)に、「大学で学ぶということ」という題目で、学問研究の場であり、社会に出る前の最終的な教育の場であり、さらに豊かな教養を身につけた人間を育成する場である大学で、より充実した大学生活を過ごすためにいかに意欲的に「学ぶ」かについて講義しました。



波田学長 講義風景

### 神戸女子短期大学 教養科目「心理学(女性の教養としての心理学)」(学長講座)開講

今年度から、「心理学(女性の教養としての心理学)」を、建学の精神や教育目標、女性の生き方なども織り込んだ学長講座にしています。平成23年度前期の受講生は237名でAVホールが満員になる人気の講義となっています。

長瀬 莊一学長は、心理学が日常生活に生かされている実際を取り上げ、心理学を使って好ましい人間関係や社会生活ができるための基礎編を15回にわたり講義しています。

人間の深層心理、性格診断の心理学、笑いの心理学など、学生が知りたくなるテーマ満載で、心理テストを含めた90分があつという間に過ぎていきます。その中で「自立心・対話力・創造性」など、神戸女子短期大学の特長や教育目標が解説されています。



長瀬学長 講義風景



## 学園教職支援センター紹介



自学、自習スペース



幼稚園・保育園求人ファイルや採用試験受験報告書

教職支援センターは平成19年4月に発足した学内でも新しい組織の一つです。

平成18年7月11日付けの中央教育審議会答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」で謳われている中の「教職課程の質的水準の向上」を主眼に置き、神戸女子大学の在学生の約半数に及ぶ教員免許状取得希望者への支援を行っています。平成23年度からは保育士養成に関することも当センターにおいて取り扱っています。

センターは従来、学内の幾つかの部門や特定の教員で個々に対応していた教職課程に関する履修指導、編入学生や科目等履修生への履修指導、教育実習指導、教職ガイダンス、学校ボランティア、学校インターンシップ、スクールサポーター、教員免許状申請、教員採用対策指導、教職課程認定業務、専任教員の定数管理業務等を体系的にそして一元的に取り扱い、教学と事務のより緊密な関係を築き、学生個々の適性や履修履歴などに応じて、きめ細かい指導・助言・援助が行えるよう、教職指導の充実に努めています。

センターには常駐の教職課程担当専任教員（現在2名）を配置し、教職に係わる指導や相談を常時行える体制を整えています。学生の自習スペースを設け、教員・保育士採用情報や教育関連情報を検索できるように7台のパソコンを設置してさらに、全国の教員採用試験問題集や小・中・高等学校の教科書、授業指導案、採用試験受験報告書などを自由に閲覧できるように配慮しています。

事務部門では、教職課程履修相談、教育実習・介護等体験、保育実習手続き、教員免許状や保育士資格一括申請手続き、教職課程認定申請、既修得単位認定、スクールサポーター、学校ボランティア、学校インターンシップに関する手続き、教員採用試験手続き、幼稚園・保育所就職手続き、各種対策講座・ガイダンス運営などを行い、教職・保育の事務手続きにおける「ワンストップサービス」を展開しています。

さらに昨年度より「教職卒業生ネットワーク」を立ち上げ、教職に就いている卒業生や教職を目指している卒業生と在学生、本学教職員の相互交流、教職に関する研修会（教員免許更新講習含む）、新任教員の方のサポート、教職情報の提供、教職志望の在学生への指導と交流などの活動を徐々に展開していく予定です。



全国の教員採用試験の要項を揃えています



短大入学式後にミニコンサート 今年も開催  
 大学入学式後に学生の手作り歓迎セレモニー  
 神戸女子大学A館耐震改修工事完了  
 両キャンパスに売店が新規オープン



短大入学式後にミニコンサート 今年も開催

平成23年4月3日(日)に神戸ポートピアホールにおいて、第62回入学式を挙行了しました。

式典終了後、今年も「新入生歓迎コンサート」が開催され、保護者を含め約900名の方々にクラシック音楽でくつろいでいただきました。中田 昌樹氏の指揮でアルカディア室内管弦楽団の演奏によるモーツァルトの「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」第1楽章、ソリストにソプラノ歌手寺本 郁子さんを迎えてシューベルトの「アヴェ・マリア」など8曲を聴いていただきました。



大学入学式後に学生の手作り歓迎セレモニー



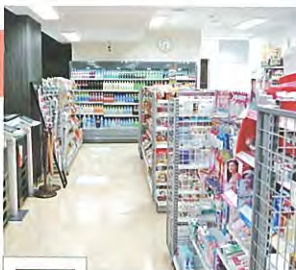
平成23年4月4日(月)に神戸ポートピアホールにおいて平成23年度神戸女子大学入学式を挙行了しました。式典終了後、在学生の企画・運営による「歓迎セレモニー」が開催されました。司会・進行は、神戸女子大学同好会「放送研究会SGBC」のメンバーが担当しました。

大学紹介、各学科の先輩からのメッセージ、神戸女子大学管弦楽団によるミニ・コンサートなど、歓迎の気持ちが伝わる手作りの歓迎セレモニーとなりました。

神戸女子大学A館耐震改修工事完了

須磨キャンパスの神戸女子大学A館耐震改修工事(平成22年5月17日～平成23年3月25日)が無事終了し、平成23年3月30日(水)に竣工清祓式が行われました。あわせて、A館のメインタワー「神戸女子大学」のサインも新しくなりました。

(裏表紙写真参照)



A館1階  
 須磨キャンパス[生活彩家]  
 Quality Store  
 生活彩家  
 営業時間  
 平日 8:00～15:00  
 土曜日 8:00～15:00



CAMPUS SHOP  
 PORT  
 営業時間  
 平日 8:00～17:00  
 土曜日 8:00～15:00  
 B館食堂2階  
 ポートアイランドキャンパス[PORT]

両キャンパスに売店が新規オープン

平成23年4月1日(金)から須磨とポートアイランド両キャンパスに今までの装いも新たにコンビニ・売店がオープンしました。

須磨では店舗のまわりにくつろぎのスペースも設置され学生達から好評です。



## 英語演劇鑑賞の夕べ

### ウィリアム・シェイクスピア作「から騒ぎ」公演



今年もインターナショナル・シアター・カンパニー・ロンドン (ITCL) の日本公演が、14の大学と2つの一般会場で開催されました。神戸女子大学文学部英語英米文学科も主催校のひとつとしてその公演を支えてきました。

神戸女子大学の公演は今年で6回目を迎え、平成23年5月24日(火)に須磨キャンパス体育文化ホールで上演され、約700名の観客が楽しみました。

「から騒ぎ」は、「リア王」、「じゃじゃ馬馴らし」、「夏の夜の夢」、「ハムレット」、「オセロー」に続く6回目の演目です。「から騒ぎ」は恋人たちが繰り広げる愉快な言葉遊びが魅力の恋愛喜劇で、観客席は終始楽しい雰囲気にも包まれました。

照明、アナウンス、受付といった公演の運営は、英語英米文学科の学生が中心になって行いました。今回は、東日本大震災の募金活動も行い、多くの来場者の皆さまにご協力いただきました。集まった募金は日本赤十字社へ寄贈させていただきます。

## 平成22年度フードスペシャリスト資格認定試験全国トップ成績、加藤 映美里さん 日本食糧新聞社から取材を受ける



加藤さん(中央)と田中教授(右)

平成23年5月11日(水)午後、今春神戸女子短期大学食物栄養学科を卒業して神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程に編入学した加藤 映美里さんが日本食糧新聞社からの取材を受けました。

彼女は平成22年度フードスペシャリスト資格認定試験において全国トップの成績を収めたため、日本フードスペシャリスト協会からの取材要請があったものです。

日本食糧新聞社はフードスペシャリストに関連する記事を取り上げる中で、今回は認定試験成績1位の人物に焦点を当てて紹介することとなりました。加藤さんは約6,000名の受験者の中でトップの成績(102点/110点満点)で資格を取得し、その勉強方法や日頃の授業での取り組み姿勢など、元担任の田中 智子教授の同席の下で取材を受けました。本内容は6月1日開催の日本フードスペシャリスト協会総会で掲載紙が配布され、会員各位に紹介されました。



# 大学コンソーシアムひょうご神戸 単位互換事業が開始 鈴木 寛文部科学副大臣招聘シンポジウム



## 大学コンソーシアムひょうご神戸 単位互換事業が開始

大学コンソーシアムひょうご神戸では、単位互換協定に基づき、協定大学の間で単位互換できる授業が実施されます。自分の専門分野以外の授業や、興味のある他大学の講義を受けて、単位の認定を受けることができます。神戸女子大学では4つの科目を開放科目としております(「神戸女子大学単位互換事業開放科目一覧」参照)。

### ●平成23年度参加大学(50音順)

関西国際大学・関西福祉大学・関西学院大学・近畿医療福祉大学・神戸芸術工科大学・神戸松蔭女子学院大学・神戸女子大学・神戸親和女子大学・神戸常盤大学・神戸山手大学・夙川学院短期大学・園田学園女子大学

### ●対象学生

参加大学・短期大学の2年生以上に在学する学生(ただし短期大学生に関しては1年生の申し込みも可)

### 神戸女子大学単位互換事業開放科目一覧

科目名	女性学	単位数	2	担当教員	小河 洋子
定員	各10名	履修条件	女子のみ		
キャンパス	須磨キャンパス	学期	前期(春)	開講期間/曜日・時限	4月7日(木)~8月12日(金)/水・3時限(13:00~14:30)
	ポートアイランドキャンパス		前期(春)	開講期間/曜日・時限	4月7日(木)~8月12日(金)/水・5時限(16:40~18:10)
授業概要	女性が置かれている状況や抱えている問題について女性の視点で学ぶ。特に、家族・教育・身体・暴力と女性の関わりをテーマとして取り上げる。				
科目名	女性と職場	単位数	2	担当教員	小河 洋子
定員	各10名	履修条件	女子のみ		
キャンパス	須磨キャンパス	学期	後期(秋)	開講期間/曜日・時限	9月26日(月)~2月17日(金)/水・3時限(13:00~14:30)
	ポートアイランドキャンパス		後期(秋)	開講期間/曜日・時限	9月26日(月)~2月17日(金)/水・5時限(16:40~18:10)
授業概要	女性雇用労働者の置かれている状況と問題に注目し、具体的に理解を深める。例えば、法律や制度と女性労働者との関係、自分の望む生き方と社会が期待する生き方、どのように問題に対処できるかということなど。				
科目名	神戸の歴史と文化	単位数	2	担当教員	今井 修平 他
定員	各10名	履修条件	女子のみ		
キャンパス	須磨キャンパス	学期	前期(春)	開講期間/曜日・時限	4月7日(木)~8月12日(金)/木・5時限(16:20~17:50)
	ポートアイランドキャンパス		前期(春)	開講期間/曜日・時限	4月7日(木)~8月12日(金)/水・5時限(16:40~18:10)
授業概要	「神戸」の豊かな歴史と文化の営みについて、歴史面では、古くから知られる神戸・須磨の地獄的特性や明治以降の産業発展と中国とのつながり、また文化面では文学、服飾、料理、住居等多様な分野に亘って神戸との関わりについて学ぶ。				
科目名	世界の食文化	単位数	2	担当教員	梶原 苗美 他
定員	各10名	履修条件	女子のみ		
キャンパス	須磨キャンパス	学期	後期(秋)	開講期間/曜日・時限	9月26日(月)~2月17日(金)/金・4時限(14:40~16:10)
	ポートアイランドキャンパス		前期(春)	開講期間/曜日・時限	4月7日(木)~8月12日(金)/金・4時限(15:00~16:30)
授業概要	異なる食文化の比較対比や食文化の変容や受容の事例を通して、食文化が、実際には固定的なものでも不変のものでもないことを学ぶ。授業は各分野の専門家を国立民族学博物館ほか他大学および研究機関から学外特別講師としてお願いしオムニバス形式で行う。				

## 鈴木 寛文部科学副大臣招聘シンポジウム

大学コンソーシアムひょうご神戸主催、兵庫県・神戸市後援による鈴木 寛文部科学副大臣招聘シンポジウムが平成23年1月22日(土)午前10時から、PIキャンパスB館AVホールで開催されました。「新成長戦略とグローバル社会における大学に期待される役割」というテーマのもと講演や報告があり、県内外の大学などから160名を超える参加者を迎えました。

鈴木副大臣の講演につづき大学間連携事業報告「海外派遣・留学生インターンシップについて」が、ひょうご大学連携推進協議会事務局からなされました。これらの発言を踏まえてディスカッションがあり、各シンポジストが発言しました。

鈴木副大臣は、「日本の若者は内向き志向と言われているが、大学が、グローバル人材を育成することにより国際競争力の強化が可能となる」など主張されました。一方、諸星 裕桜美林大学大学院教授からは、自らの経験を踏まえて「グローバル人材の育成には、大学、高校、産業界の連携が必要である」と強く主張されました。参加者は、各シンポジストの意見に熱心に耳を傾け、休憩後には質疑応答も行われました。







## 和束町との連携協定締結

「V-net+」が平成22年度の「学生ボランティア団体助成」として表彰  
エアポート・エコクラブが「こうべユース賞」を受賞

### 和束町との連携協定締結



京都府相楽郡和束町と神戸女子大学、神戸女子短期大学は、平成15年から連携関係を深め、大学では町民向け公開講座「旅する公開講座」などを和束町で開講してきました。短期大学では「食育講座」の開講や和束茶を使ったパンの製作、リーガロイヤルホテルの「和束茶フェア」への協力を実施してきました。このように協力関係が先行してきましたが、それを明確にするともに、新たな関係構築を目指して平成23年1月19日(水)に連携協定を締結しました。

行吉理事長、波田学長の挨拶に続き、和束町の堀 忠雄町長から、「魅力ある農山村を目指して学生からの提案を頂きたい。また健康、栄養の視点で共同研究が実現できるように努力したい。」との決意が述べられました。

### 神戸女子大学「V-net+」が平成22年度の「学生ボランティア団体助成」として表彰

平成23年1月27日(木)に神戸女子大学同好会「V-net+」が財団法人学生サポートセンターが助成事業の一つとして行っている平成22年度第8回「学生ボランティア団体助成」に選ばれ、全国56大学関係のボランティア活動とともに表彰されました。「V-net+」は、神戸女子大学管理栄養士養成課程の学生で構成されており、阪神淡路大震災の時、栄養士を目指す学生が、自分たちが手伝えることはないかを考え、食に関するボランティア活動を行ったことがきっかけで活動がはじまりました。活動内容は、多岐にわたり、“地域の人たちに対する栄養バランスを考えた献立”や“子どもたちの栄養を考えたおやつレシピ”の提案・アドバイスなど管理栄養士養成課程の学生ならではの栄養の知識に基づいた活動を行っていることが高く評価されました。



左から新部長 田尻 加奈さん  
前部長 大谷 真美さん、新副部長 松本 怜奈さん

### エアポート・エコクラブが「こうべユース賞」を受賞



神戸女子短期大学エアポート・エコクラブが「こうべユース賞」を受賞し、平成23年2月19日(土)に神戸勤労会館で表彰式がありました。

「こうべユース賞」は、神戸の青少年の文化・スポーツの振興と社会活動の促進を目指して制定された賞で、今年で30回目となります。エアポート・エコクラブは社会活動の分野で、たゆまずすぐれた活動をしてきたということで表彰されました。

この日は、14時からの表彰式に先立って、神戸市の矢田市長と受賞者とのタウンミーティング(市長懇談会)がありました。社会部門で受賞する3団体の代表と一個人が市長と45分間の懇談をしました。学生たちはこれからの抱負や活動を継続するための工夫などを、市長に熱く語りました。エアポート・エコクラブからは、新部長 高橋 ともみさん・新副部長 萩原 真美子さん・2年生部員代表 杠 沙弥さんの3人が、タウンミーティング・表彰式に出席しました。



## 健康推進プロジェクトで「男性のための料理教室」開催 須磨離宮公園とのキャンパスパーク連携



### 健康推進プロジェクトで「男性のための料理教室」開催

ポーアイ4大学連携事業～ポーアイ健康推進プロジェクト～の一環として行われている第9回「男性のための料理教室」が、平成23年2月23日(水)に開かれました。

神戸女子短期大学食物栄養学科中尾 美千代専任講師の指導のもと、ポートアイランドに居住の60歳以上の男性23名が参加して、「健康増進と病気に対する自己管理」を念頭に、手軽に作れる和食メニューに取り組みました。

参加者の中には80歳を超える方もおられました。毎回参加されている方も多く、調理の手際も素晴らしく見事な出来栄で、みんなで揃っておいしく試食していただきました。また、この料理教室には本学食物栄養学科の学生がアシスタントとして協力し、参加者とのコミュニケーションを図る貴重な体験や実習経験を得ることが出来ました。



### 須磨離宮公園とのキャンパスパーク連携



バラレンジャーに扮した学生がルールを説明



参加者全員で記念撮影

平成23年5月21日(土)午前9時から、神戸市立須磨離宮公園において、レクリエーション授業履修者(教育学科:中山 ふみ江教授)と北須磨小学校レクリエーションクラブの主催で「バラ探検ラリー」が開催されました。この催しは、全国一斉「あそびの日」キャンペーンの一環として行われました。

子どもたちと保護者の方、約100名が参加され、中山研究室のゼミ生と教育学科の学生55名が、レクリエーションの実践として子どもたちと一緒に楽しみました。

子どもたちは、グループに分かれてさまざまなゲームを楽しみながら美しくバラが咲き誇る園内を散策しました。

今回のバラ探検ラリーは、「美少女戦士バラレンジャー」という設定です。離宮公園のバラを枯らしてしまおうとする黒の女王一味を倒すために子どもたちとバラレンジャーが力を合わせ離宮公園のバラを守るといったストーリーです。

学生たちが美少女戦士バラレンジャーと黒の女王一味に扮したお芝居に、子どもたちは大喜びでした。

子どもたちはグループに分かれ園内7か所のさまざまなゲームに挑戦しました。全グループがゲームのミッションをクリアし、見事、黒の女王一味から、離宮公園のバラを守ることができました。

子どもたちはバラレンジャー認定証を授与され、一枚の折り紙で作られたバラの首飾りがプレゼントされました。

最後に参加者全員で記念の写真を撮って「バラ探検ラリー」は無事終了しました。





学 園 からのお知らせ

○平成23年 兵庫県功労者に神戸女子大学波田 重熙学長と神戸女子短期大学西川 貴子教授が選ばれる。

平成23年の県功労者として240人(22部門)が選ばれ、5月18日(水)に県公館で表彰式が行われました。本学園からは、神戸女子大学の波田 重熙学長と神戸女子短期大学の西川 貴子教授が選ばれ、表彰されました。

波田学長は、専門分野が地球科学であることから、平成8年に兵庫県の文化財保護審議会の委員を委嘱され、平成12年から副会長、平成18年には会長に就任、現在に至っています。

文化財保護審議会は、県内の建造物、美術工芸品、無形文化財、民俗文化財、史跡名勝天然記念物などの文化財の指定に関する答申や文化財に関する重要事項を調査審議するとともに、これらの事項について建議する審議会です。

波田学長は、長年にわたり文化財保護審議会の委員として文化財保護行政に多大な貢献をしてきたことが評価され、このたびの「県政功労」の部門での受賞となりました。

西川 貴子教授は神戸女子短期大学の講師・助教授・教授として、専門分野である食物栄養学を中心とした幅広い関連分野で、長年にわたって教育・研究に携わり多大な成果をあげました。平成17年には「健康・食育研究会」を立ち上げ、会の代表として食育シンポジウムを開催、神戸市立こうべ小学校との小大連携「食育プログラム」を平成19年より継続的に実施、神戸市、川西市、三田市、伊丹市などで講師、調理実習指導を行い、広く地域にも貢献してきたことが評価され、このたびの「教育功労」の部門での受賞となりました。



○名誉教授称号授与式



平成23年6月21日(火)に神戸ポートピアホテル「布引の間」において神戸女子大学と神戸女子短期大学の名誉教授の称号授与式が挙行されました。

本年度の神戸女子大学名誉教授の称号は白崙 顕成先生、神戸女子短期大学名誉教授の称号は森下 敏子先生に授与されました。

式典では神戸女子大学の波田学長と神戸女子短期大学の長瀬学長から称号記が授与され、記念写真撮影後、和やかに懇談が行われました。各先生の教育・研究業績は以下のとおりです。

白崙 顕成先生: 印度哲学・仏教学・11世紀仏教論理学者Jitāri(ジターリ)の研究・茶道文化の研究に従事。江戸初期の茶人藤村庸軒に関する研究の第一人者。「道徳教育の研究」「倫理学概論」を担当。

森下 敏子先生: 調理学・食品学の研究に従事。ケナフとローゼルの食品への利用に関する研究は特に注目される。「調理学」「調理学実習」「フードスペシャリスト論」を担当。

○神女中山手保育園 開園及び入園式挙行

社会福祉法人神女きずな会神女中山手保育園は81名の園児を迎え、平成23年4月1日(金)に開園しました。

4月2日(土)午前10時から、神戸女子大学教育センター(三宮キャンパス)の体育館で初の入園式を行いました。理事長挨拶、園長挨拶、ご来賓からの祝辞、職員紹介の後、大学のキッズリーダー部によるペープサート『とりかえっこ』が上演されました。教職員だけでなく学生も運営に係わり、本学の関連保育園としてふさわしい入園式となりました。



○平成22年度 博士学位授与者

平成23年3月16日(水)に論文博士2名に博士学位が授与されました。

<論文博士>

中村 芳久 (英文学) 指導教員:河上 誓作教授 論文題目:「認知文法研究 -主観性の言語学-」

鎌谷 かおる (日本史学) 指導教員:今井 修平教授 論文題目:「日本近世における生業と地域秩序形成の研究」





行事日程

7月

5	火	<ポートアイランドキャンパス>すいか祭
7	木	大学院博士前期課程推薦選抜入試(家政学研究科のみ)
8	金	<須磨キャンパス>すいか祭
18	月	海の日
23	土	オープンキャンパス
27	水	<大学・短大>前期授業終了
28	木	<大学>補講・追再試験等(8月12日まで)
28	木	<短大>補講・前期定期試験(8月12日まで)

8月

6	土	オープンキャンパス(7日まで)
13	土	<大学・短大>学生夏期休業(9月22日まで)
13	土	全学一斉休業(16日まで)
20	土	オープンキャンパス(21日まで)

9月

1	木	<短大>前期定期試験結果・追再試験発表
5	月	<短大>前期追再試験(9日まで)
8	木	<大学>前期科目最終成績発表
19	月	敬老の日
23	金	秋分の日
26	月	<大学・短大>後期授業開始

10月

1	土	AO入試(二次)、一般編入学試験
10	月	体育の日
22	土	大学院博士前期課程入試(秋期)、大学院社会人特別入試(秋期)、学校教育学専攻科入試(一次募集)
23	日	神戸女子大学古典芸能研究センター開設10周年記念事業

11月

3	木	文化の日
5	土	公募制推薦入試前期、神女ファミリー入試、自己推薦入試 指定校特別推薦入試、 公募制推薦入試総合基礎マーク式(短大のみ)、 社会人特別入試
11	金	創立記念日、大学祭・学園祭準備(休講)
12	土	大学祭・学園祭(13日まで)
23	水	勤労感謝の日

12月

3	土	公募制推薦入試後期
10	土	<大学>補講日(10・17・24・26・27・28日)
10	土	<短大>補講日(10・17・24日)
22	木	<大学・短大>年内授業最終日
23	金	天皇誕生日
25	日	<短大>学生冬期休業(1月5日まで)
29	木	<大学>学生冬期休業(1月5日まで)、全学一斉休業(1月3日まで)

表紙写真

ミケランジェロ Michelangelo

「ダビデ像」の彫刻、バチカン市国にあるシスターナ礼拝堂のフレスコ画「最後の審判」、「サン・ピエトロ大聖堂」と聞いて、誰を思い浮かべますか?イタリアルネサンス期の三大巨匠と呼ばれ、レオナルド・ダ・ヴィンチ、ラファエロ・サンティと並び称されている「ミケランジェロ・ブオナローティ」は、彫刻家、画家、建築家そして詩人としても活躍しました。名前はミカエル(Michael)と天使(angelo)を併せたものと言われています。



この巨匠の名を冠したバラは、須磨離宮公園の「王侯貴族のバラ園」の中でも、ひと際明るく輝くような黄色が美しいモダンローズです。花の色が褪せにくい四季咲き大輪のバラで、香りも楽しめます。須磨離宮公園では数少ない黄色のバラのひとつです。1997年にフランスのメアンにより作出され、ジュネーブ国際コンクールでは金賞を受賞しました。メアンはバラの作家ファミリーの名称で、何代にもわたって素晴らしいバラを生み出しています。神女広報CROSSROADSの前号(VOL.11)表紙でご紹介した「ロイヤル・プリンセス」もメアン作出のバラでした。須磨離宮公園にある180種類のバラの内、35種類がメアン作出によるものです。

神戸市立須磨離宮公園 園長 吉田 一郎

編集後記

東日本大震災で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに被災された方々へのお見舞いを申し上げます。東日本大震災から4ヶ月以上が過ぎましたが、未だ行方不明の方は5千人を超え、復興への道のは依然厳しい状況が続いております。一日も早く、被災された方が以前の生活ができるように、自分には何ができるかを考え、少しでも被災地の復興に役立つことや節電を実行するつもりです。

例年になく早い梅雨入りで、じめじめとした季節が長く続きました。今年も猛暑の予報ですが、15%の節電が求められ、冷房を効かせて簡単に暑さ対策をするわけにはいきません。どうしたらこの夏を乗り切れるかは、国民的な課題です。しかし、考えてみれば人は夏にルームエアコンがなくても生きてきたのです。先人の知恵を借りて涼しい夏の過ごし方を工夫すると同時に、省エネをうたった最新の技術を活かした生活用品を上手に利用して元気にこの夏をすごしたいと思っています。

このたび発行いたしましたCROSSROADS vol.12は、多くの教職員の方々の協力をいただいて完成いたしました。本当にありがとうございました。今後とも皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。(M.O.)

神女広報 CROSSROADS vol.12 2011年7月発行

編集・発行 学校法人行吉学園 学園情報センター 学園広報担当  
〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-7-2  
TEL:078-303-4790 FAX:078-303-4713  
ホームページアドレス <http://www.yg.kobe-wu.ac.jp/>  
E-メールアドレス [gakuenkoho@yg.kobe-wu.ac.jp](mailto:gakuenkoho@yg.kobe-wu.ac.jp)

印刷 交友印刷株式会社

※「神女広報」へのご意見、お問い合わせなどお寄せください。





学校法人行吉学園



神戸女子大学



神戸女子大学大学院



神戸女子短期大学



神戸女子大学教育センター

vol.12  
2011 Summer

「自立心・対話力・創造性」活力あるコミュニケーションで結ぶ

神女広報

CROSSROADS